

仙台市都市計画マスタープラン地域別構想 都心地区・泉中央地区・長町地区（素案）への意見

いただいた意見は以下のとおりです。

通し 番号	頁	項目	意見
1	3	【地域別構想の策定目的と位置づけ】 第1章-4	第3章都心地区の都市づくりのテーマを下記にしていかがか。「杜の都と世界市民が交流する“最上級”の都市空間」人を惹きつけるまちづくりという点で「世界市民」としてはどうか。
2	5	【都市づくりの考え方】 第2章-1-(1)	P.5の暮らす、学ぶ楽しむの文字が背景と同化している印象です。
3	7	【都市づくりの考え方】 第2章-1-(3)	P.7の地図は左下の文字、左上の説明文字が小さくぼやけていて読みづらく感じました。
4	8	【本市における都市づくりの考え方】 第2章-2	非日常を感じる視点で、都心は「多面的な」非日常としてはどうか。
5	8	【本市における都市づくりの考え方】 第2章-2-(2)	仙台塩釜港周辺の位置づけと3拠点との関連性が弱いのではない か、特に、国内外との海の玄関口といえる仙台塩釜港をどう活かす のか、その将来展望や都心部との連携の重要性を示すことが必要で はないか。
6	9	【都心地区】 第3章-1-(1)	P.9の写真について、もう少し大きなほうが見やすいです。
7	10	【都心地区】 第3章-1-(3)	本市スーパーシティ構想を盛り込むべきではないか。
8	10	【都心地区】 第3章-1-(3) 都心地区における今後の都市づ くりの方向性	都心地区は、広域的な交流を支える玄関口であり、国際競争力を有 する、世界と結びつく地区に位置づけられるのであれば今後の都市 づくりのポイントに「玄関口としてのゲート機能の高度化」などの視点 の追加が必要ではないか。
9	10	【都心地区】 第3章-1-(3)	「新たな人の流れ」といった表現は、「若者を中心とした新たな人の流 れの活用」の方が良いのでは。
10	12,13	【都心地区】 第3章-3	あげればきりが無いのかもしれませんが、 ・宮町通り（新幹線ホーム北側からほど近い動線を作れば東照宮ま での人流が期待されるエリア） ＜商と観光のスポット＞ ・二十人町通（道路が整備され車の交通量は増加した）、榴岡公園 （歴史民俗資料館）、陸上競技場、サンプラザを含め、宮城野通と連 携させ、回遊性を高められる ＜健康スポーツと文化スポット＞ 以上の点を加えておきたいと思いました。

通し 番号	頁	項目	意見
11	13	【都心地区】 第3章-3-(1)-②	「一番町などの豊かな公共空間が一体となって」とありますが、公共空間のある勾当台公園周辺エリアには、県民会館、メディアテーク、市民会館も含まれると考えてよろしいでしょうか。その場合、上記2施設の移転が検討されておりますが、これまでこの施設の利用者が作ってきた人の流れなどは、この周辺にとて素晴らしい影響を与えてきたと思います。その跡地の利用もまだ見えてこない状況で、「仙台の象徴たるエリア」をどのように継続させていくのでしょうか。 施設の一つは仙台市ではない行政が運営しており、状況の把握は難しい事とは思いますが、ぜひとも連携をもって、これまで作り上げてきた文化的な雰囲気を持続させるように取り組むきっかけとしてほしいと思います。
12	14	【都心地区】 第3章-3-(2)	P.14の下の地図、宮城野原周辺エリアの青枠について、凡例欄に書いてもいいかと思えます。文字が全体的に小さく凡例や仙台サンプラザなどの場所の文字が読みづらいです。
13	17	【都心地区】 第3章-4	・2つ目と3つ目の文がほぼ同一の内容なので整理が必要。 ・「企業等との交流を…」といった表現は、「企業等の間の交流を」の方が良いのでは。
14	18	【都心地区】 第3章-4	まちなかウォーカブル区域の定義が不明確のため、加筆すべき。
15	18	【都心地区】 第3章-4	高速バス等の乗り継ぎ利便性などを事例に「交通結節機能の強化」が謳われているものの、路線バスの利便性向上に関する書き込みが弱い。 また、「ウォーカブルな都市空間の形成」では、ハード的な整備のみならず、都心を歩く(回遊や滞在)ための条件づくりが欠かせないと思うが、その視点に触れる必要はないか。
16	18	【都心地区】 第3章-4 方針2-1都市の回遊性の向上に向けた交通環境づくり	都心の回遊性の向上のためには、都心交通に内在する広域交通や大型貨物等の重交通等を軽減することも合わせて考える必要があることから、方針に「輻輳する都心交通の適正な経路分担に資する広域的な道路ネットワーク路線の強化」などの追加が必要ではないか。
17	20	【都心地区】 第3章-4 方針2-2多様な活動を支える都市の活動を支える都心の交通環境づくり	仙台駅が東北・仙台の玄関口として交通結節機能の強化を図るのであれば、高速バスに加えて、仙台空港や仙台港、三陸沿岸道路等の高規格道路ネットワーク等と連携する「仙台駅を核としたマルチモーダル交通体系の構築」等の視点が必要ではないか。
18	24	【都心地区】 第3章-4	「青葉通や定禅寺通のケヤキ並木などの保全」では、広瀬通のイチヨウ並木を含め、植え替えなどについても触れておく必要があるのではないか。
19	29	【泉中央地区】 第4章-1-(1) 【長町地区】 第5章-1-(1)	P.29、P.41の泉中央、長町の写真をもう少し大きくてもいいと思います。
20	30	【泉中央地区】 第4章-1-(3)	泉中央駅のバスプールは狭く、交通混雑の一因となっている。区役所建て替えを機に、土地を有効活用、バスプールを分散化し、北部都市圏からの公共交通等の環境改善に活かしては。
21	30	【泉中央地区】 第4章-1-(3)	仙台スタジアム等の観客をデッキの中心、おへそ広場や店舗へ誘導し経済の活性化を！ 仙台スタジアムの試合時の交通環境の改善も。
22	30	【泉中央地区】 第4章-1-(3)	泉区役所建て替えで、国の目標カーボンニュートラルを目指し、木材利用を促進するとともに、市民が潤い集える、環境に優しい泉区役所づくりを！

通し 番号	頁	項目	意見
23	32	【泉中央地区】 第4章-3	(将来構想図として)「商業業務ゾーン」と「商業・業務・居住ゾーン」の指定範囲はこれでよいのでしょうか。(南側ブロックは「商業業務ゾーン」か)
24	33	【泉中央地区】 第4章-4	泉区役所の建て替えなどを契機として、区役所敷地の一部民間へ売却し、集合住宅等の整備も可としている点については、決して同地区の魅力高める都市機能の強化や賑わいと交流の創出には貢献しないと考える。 子どもや子育て世代、若者が学び、憩い、集う施設などの整備を求める声を大切にしまちづくりの方向性を 明確に示すべき。 また、都市機能として不可欠な宿泊施設の整備の重要性 も書き込む必要があるのではないか。
25	42	【長町地区】 第5章-1-(3)	P.42の都市づくりの方向性やポイントに、たいはつくるの中の施設、楽楽ホール、太白図書館、市民センターなども加えてほしいです。
26	44	【長町地区】 第5章-3	(将来構想図として)「商業業務ゾーン」と「商業・業務・居住ゾーン」の指定範囲はこれでよいのでしょうか。(南側ブロックは「商業業務ゾーン」か)
27	10, 32, 44	【都心地区】 第3章-1-(3) 【泉中央地区】 第4章-3 【長町地区】 第5章-3	現状について述べた部分と将来について述べた部分の整理が必要。 1(3)は現状、2は将来、3は再び現状(将来であれば「対象範囲」ではなく「将来構想図」等にする必要あり)4は将来か。 いまの記述であれば1(1)→(2)→3→2→3(将来構想図)→4という順番が妥当では。
28	11, 31, 43	【都心地区】 第3章-2 【泉中央地区】 第4章-2 【長町地区】 第5章-2	関連する主な部門の記載は必要なのか。不要であれば削除してはどうか。
29	32,44	【泉中央地区】 第4章-3 【長町地区】 第5章-3	P.32、P.44の地図に市民センターや公民館、小学校、中学校などの学校も加えてもいいかと思います。
30	全体	—	地図は1ページ使って見やすい大きなものとしてもいいのではないのでしょうか。泉中央より長町のほうが、地図の文字が小さく込み入った印象を受けました。P.12の地図も文字が小さいので年配の人には読みづらいかと思います。
31	全体	—	感染症に関しても地域別の都市づくりの方向性やポイントに入れておくのも大切な要素になるのではないかと思います。
32	全体	—	仙台市総合計画の「The Greenest City Sendai」という言葉をどこかに入れた良いのでは。仙台市都市マスタープランには受け継がれても、今回の地域別構想には薄まってしまい受け継がれていないようにも見えてしまうため。
33	全体	—	地域別構想については、今後策定が想定される立地適正化計画を念頭に作成される必要があるかと思います。少なくとも地域別構想の対象区域には、都市機能誘導区域や居住誘導区域の指定がなされるかと思いますが、その指定基準と地域別構想にできるだけずれが生じないように(逆に言うと何度も同じことを考える必要が無いように)した方がよろしいかと思います。

通し 番号	頁	項目	意見
34	全体	—	計画実現のためには①定量的な目標の設定②定期的な評価③目標達成のためのロードマップが必要不可欠と考えます。 今後の推進体制の中で盛り込んでいくのであれば、第6章(計画の推進について)で、第5章までの計画をどのように推進していくかをもっと明確に定める必要があると考えます。 【以下参考】 ◎定量的な目標の設定 例) 利便性を向上させ、利用者を増加させる (これだけでは抽象的) 指標 利用者数〇〇人(〇〇年)→ × × 人(× × 年) 収支の改善を図る 指標 収支率〇〇%(〇〇年)→ × × %(× × 年) ◎定期的(毎年度)の評価 例) PDCA サイクルを回す(これだけでは抽象的) 指標 1年ごと開催する協議会に、仙台市において「達成状況調査」に基づき報告 ◎マスタープラン達成のためのロードマップ いつ、何を、誰が、どのようにやるかが具体的に書かれていないので取組が形骸化するおそれあり。
35	全体	—	新型コロナウイルス感染拡大が2年にわたっており、今後の経済社会への影響は続くと考えられます。すでにAfter コロナから、With コロナという流れで社会は動いていると思います。減災のところに入っているのかもしれませんが、その部分は自然災害を念頭に書かれているような気がいたします。そのような世の中の動きが計画に反映していただけることをご検討いただけると大変幸甚です。
36	全体	—	豪雨対策について。排水整備や河川周辺環境の整備は、これまでの雨量基準ではなくて、ここ最近の豪雨を想定した形で、見直しをした方がいいと考えます。 特に、これまでもよく浸水しやすい地域があると思うのですが、そういう場所を重点的に、また、これまで浸水はしなかったが、今後の豪雨では浸水しそうな部分についての想定見直しによる対策強化ということを考えてもいいように思いました。
37	全体	—	暑さ対策について。これまで仙台の売りとして、比較的暑くならない(過ごしやすい)ということが言われていますが、今後、ますます暑さがひどくなることが想定されます。 そのため、街の中に、公園の中の緑(林や森)の量を増やすとか、道路に積極的に緑を取り入れる、水辺をつくる(田んぼや溜池area)といったことで、街全体の空気を、環境を整えることで、少しでもクールダウンできる仕組みを取り入れたら、杜の都ということで、良いかと思いました。 よって、今以上に、「杜」というキーワードを意識した、それぞれの地域づくりが、住み良い街につながると考えています。